



2018年3月期第2四半期 決算説明資料

株式会社ユー・エス・エス
2017年11月

- 2017年8月24日に(株)ジェイ・エー・エー (JAA)の株式66.04%を取得、JAAおよび(株)HAA神戸 (JAA100%子会社) の運営するHAA神戸会場がUSSグループ会場となりました。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の基となる前提や予測を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、表示単位未満の端数を切捨てして表示しております。
- 本資料の百分率 (%) は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

出所

(一社) 日本自動車販売協会連合会、 (一社) 全国軽自動車協会連合会、
(株) ユーストカー、財務省貿易統計

2018年3月期 第2四半期連結業績の概要

- 売上高348.2億円（前年同期比7.6%増）、営業利益170.1億円（前年同期比9.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益117.9億円（前年同期比8.8%増）。
- 出品台数および成約台数の増加などにより増収増益。
- 2017年8月24日付で株式の66.04%を取得して子会社化した(株)ジェイ・イー・エーの連結業績は第3四半期より当社の連結損益計算書に反映。

(単位：百万円)

	2016.9	2017.9実績	前年同期比	2017.9当初計画 5/11発表	計画比
売上高	32,355	34,822	107.6%	33,700	103.3%
売上原価 (売上比)	12,809 (39.6%)	13,761 (39.5%)	107.4%	13,332 (39.6%)	103.2%
売上総利益 (売上比)	19,546 (60.4%)	21,061 (60.5%)	107.7%	20,367 (60.4%)	103.4%
販売費及び一般管理費 (売上比)	4,056 (12.5%)	4,048 (11.6%)	99.8%	4,217 (12.5%)	96.0%
営業利益 (売上比)	15,490 (47.9%)	17,013 (48.9%)	109.8%	16,150 (47.9%)	105.3%
経常利益 (売上比)	15,805 (48.8%)	17,275 (49.6%)	109.3%	16,400 (48.7%)	105.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上比)	10,840 (33.5%)	11,799 (33.9%)	108.8%	11,250 (33.4%)	104.9%

売上高要因

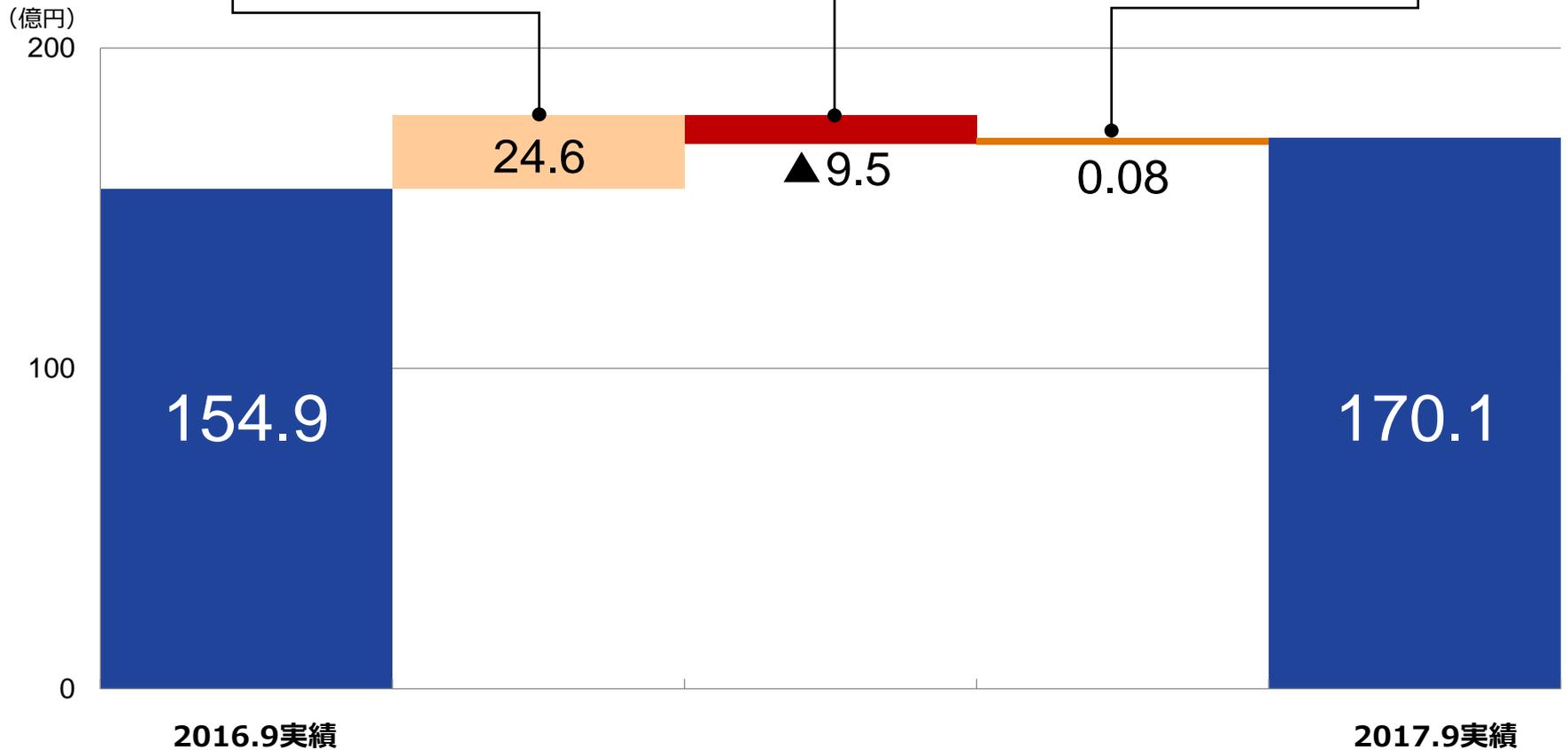
出品台数増	16.1億円
廃自動車等のリサイクル増	4.6億円
CIS(インターネット)収入増	2.8億円
事故現状車買取販売増	2.1億円
成約率減	▲2.3億円

売上原価要因

商品売上原価増	▲4.9億円
原材料仕入原価増	▲2.1億円
減価償却費増	▲1.8億円
業務委託費増	▲0.8億円

販管費要因

従業員給与・賞与減	0.5億円
租税公課増	▲0.4億円



(単位：百万円)

売上高	2015.9	2016.9	2017.9	前年同期比
オートオークション	25,201	25,378	27,186	107.1%
中古自動車等買取販売	4,883	4,571	4,736	103.6%
その他	3,558	2,405	2,899	120.5%
合計	33,643	32,355	34,822	107.6%
営業利益（営業利益率）	2015.9	2016.9	2017.9	前年同期比
オートオークション	16,124 (63.2%)	15,129 (59.1%)	16,527 (60.2%)	109.2%
中古自動車等買取販売	316 (6.5%)	169 (3.7%)	113 (2.4%)	66.8%
その他	211 (5.9%)	82 (3.4%)	321 (11.1%)	392.0%
消去または全社	112	109	51	46.7%
合計	16,763 (49.8%)	15,490 (47.9%)	17,013 (48.9%)	109.8%

※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

- 投資活動によるキャッシュ・フローは、JAAの株式取得、定期預金の減少などにより189億円の支出。
- JAAの株式取得により、現預金の一部が収益性の高い事業資産に転換。
- 自己資本比率は75.9%。

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

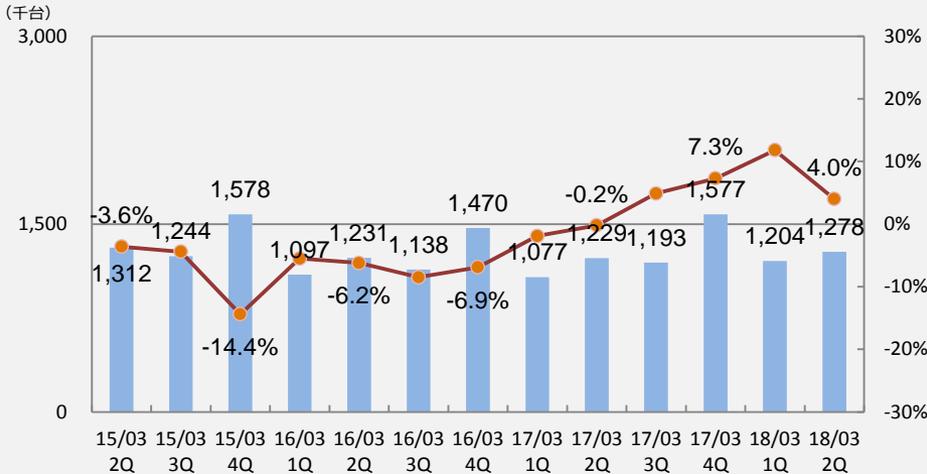
	2017.3	2017.9		2017.3	2017.9
流動資産	91,462	70,879	流動負債	28,801	35,241
現金及び預金	74,778	47,637	オークション借勘定	15,051	21,968
オークション貸勘定・他	16,683	23,242	その他	13,749	13,273
固定資産	105,911	145,296	固定負債	9,375	11,114
有形固定資産	96,868	107,068	負債合計	38,176	46,355
その他	9,043	38,227	純資産合計	159,197	169,820
資産合計	197,374	216,176	負債・純資産合計	197,374	216,176

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

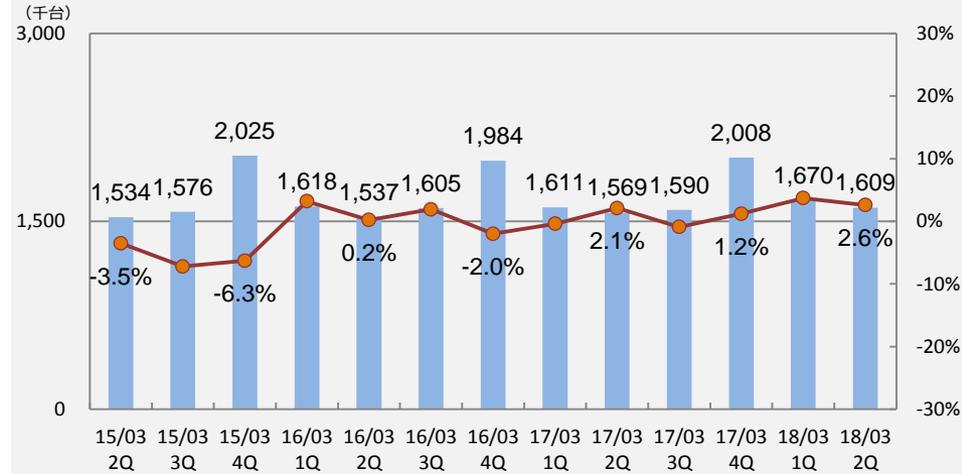
（単位：百万円）

	2015.9	2016.9	2017.9	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,556	12,535	13,909	1,374
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲8,252	▲7,967	▲18,942	▲10,974
フリーキャッシュ・フロー	1,303	4,568	▲5,032	▲9,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲5,083	▲11,943	▲6,108	5,834
設備投資（支出ベース）	3,248	3,914	3,567	▲347
減価償却費	1,565	2,108	2,277	169

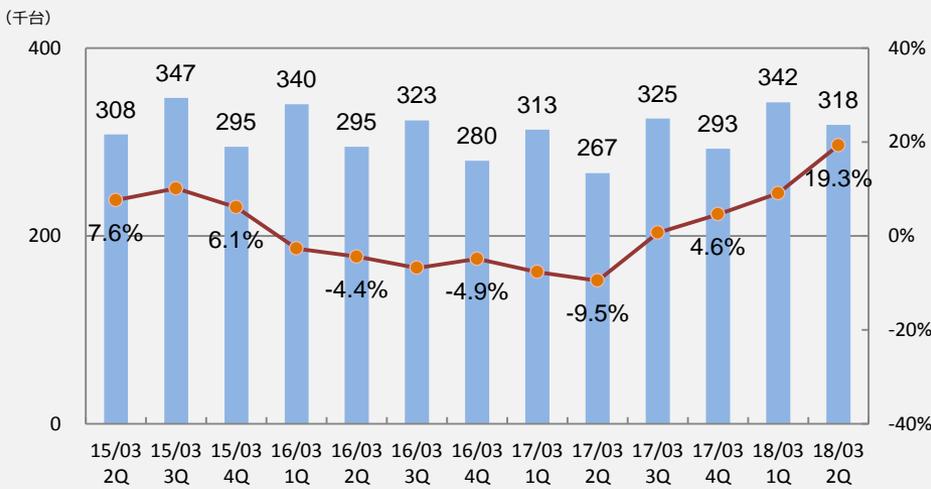
新車登録台数と前年同期比



中古車登録台数と前年同期比



中古車輸出台数と前年同期比



AA市場 出品・成約台数と前年同期比



オートオークションのセグメント①

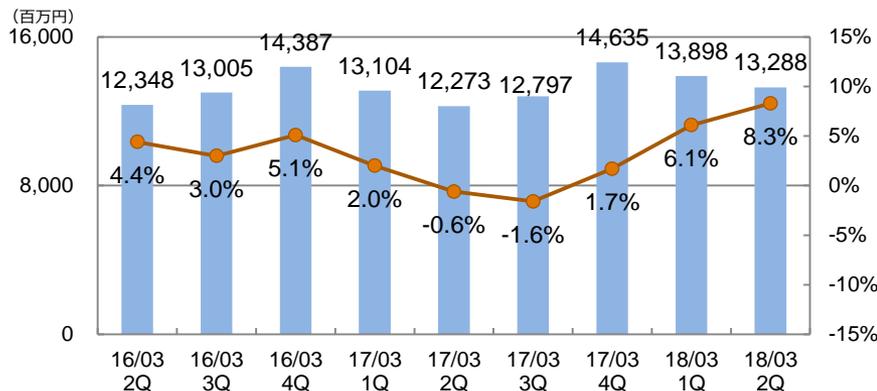
- 第2四半期累計の出品台数は121.2万台（前年同期比7.9%増）、成約台数は77.2万台（前年同期比6.3%増）、成約率は63.7%（前年同期実績64.7%）。
- 減価償却費や業務委託費などが増加したものの、出品台数および成約台数の増加などにより増収増益。

オートオークションのセグメント第2四半期業績（累計）

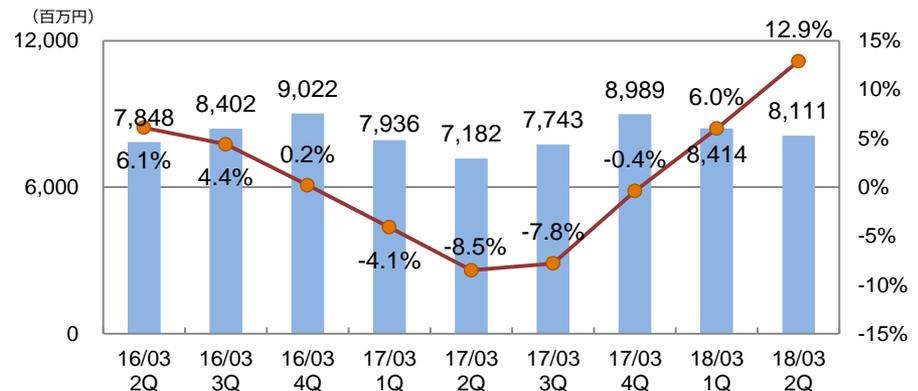
（単位：百万円）

	2015.9	2016.9	2017.9	前年同期比
売上高	25,201	25,378	27,186	107.1%
出品手数料	6,129	5,941	6,344	106.8%
成約手数料	5,944	5,780	6,236	107.9%
落札手数料	8,623	8,616	9,163	106.3%
その他	4,504	5,039	5,441	108.0%
営業利益	16,124	15,129	16,527	109.2%
営業利益率	63.2%	59.1%	60.2%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率

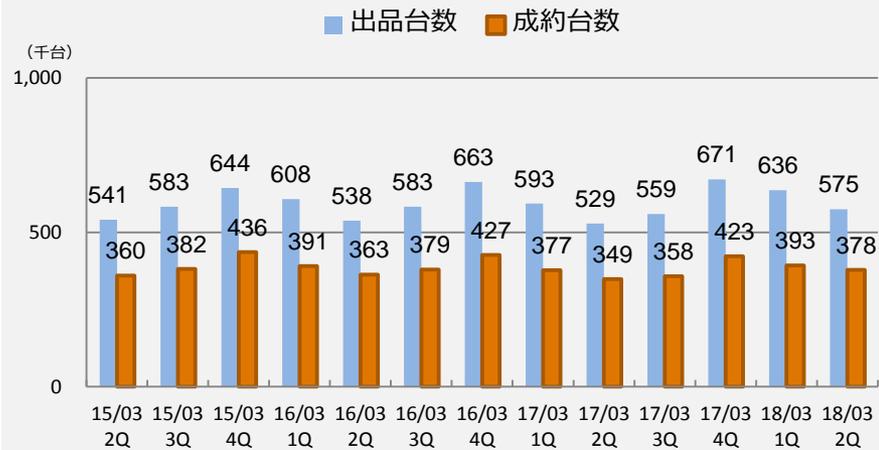


四半期営業利益推移と前年同期増減率

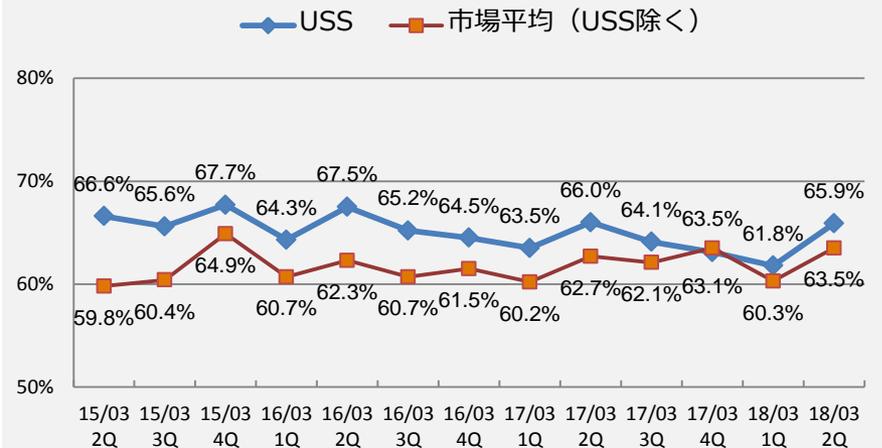


※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

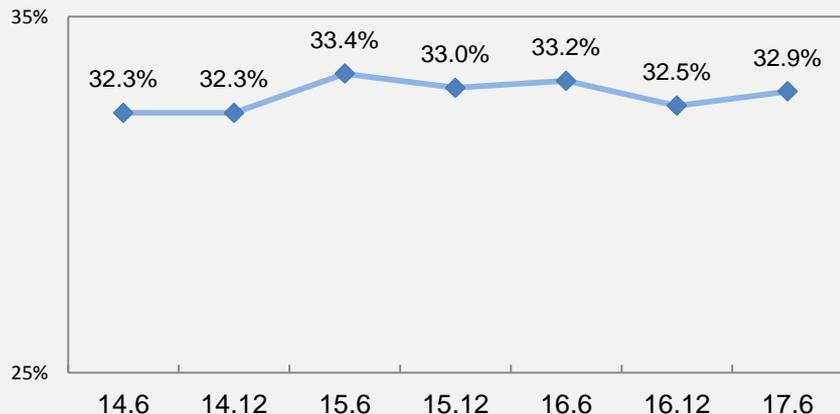
出品・成約台数の推移



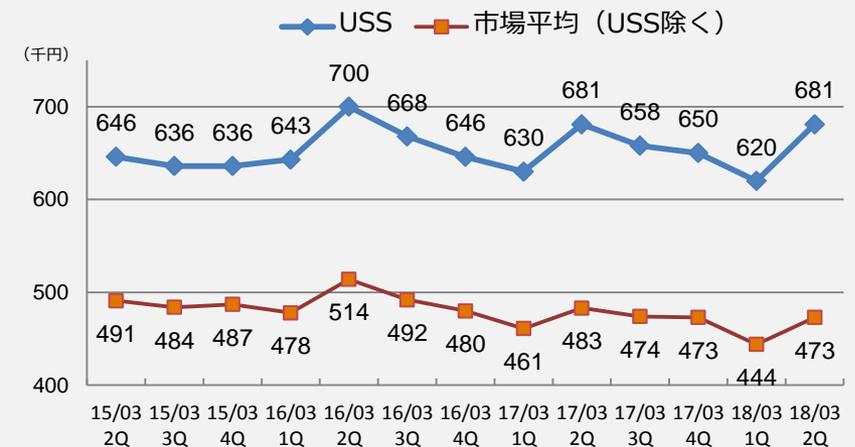
成約率の競合比較



出品台数市場シェアの推移



1台当たり成約車両金額の競合比較



※12月期は暦年の、6月期は半年の数字を記載しております。
 ※JBAの実績は含めておりません。

出品手数料総額と1台当たり手数料



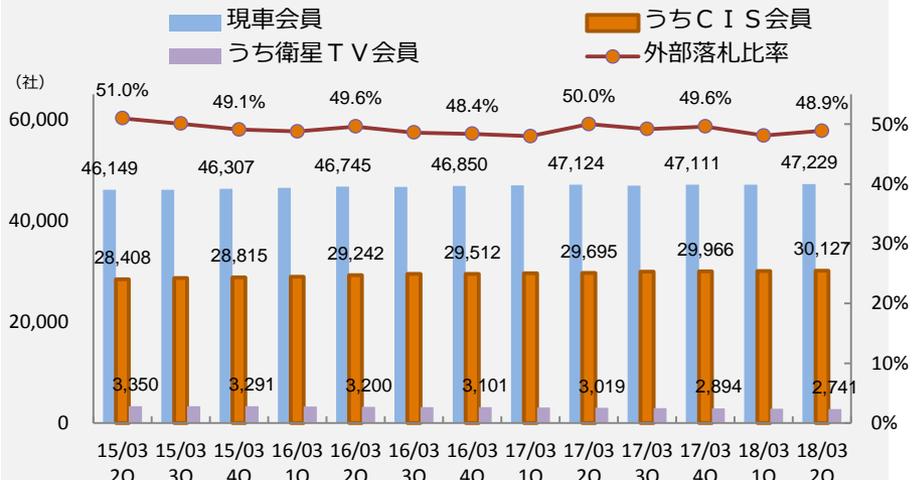
成約手数料総額と1台当たり手数料



落札手数料総額と1台当たり手数料



会員数と外部落札比率



※ 1台当たり手数料は、連結相殺前の数値をもとに算出しております。
 ※ JBAの実績は含めておりません。

2017年4月から9月までの6か月間

(単位：回、台)

	開催数		出品台数			成約台数			成約率	
	2016.9	2017.9	2016.9	2017.9	前年同期比	2016.9	2017.9	前年同期比	2016.9	2017.9
東京	24	24	305,204	313,375	102.7%	213,836	218,735	102.3%	70.1%	69.8%
名古屋	25	25	235,304	252,153	107.2%	138,431	141,634	102.3%	58.8%	56.2%
九州	24	25	76,857	92,066	119.8%	48,005	55,878	116.4%	62.5%	60.7%
横浜	24	24	88,282	87,255	98.8%	60,792	58,053	95.5%	68.9%	66.5%
札幌	24	24	66,691	73,095	109.6%	39,020	46,148	118.3%	58.5%	63.1%
R-名古屋	24	24	62,740	70,799	112.8%	51,636	57,668	111.7%	82.3%	81.5%
大阪	25	25	55,861	64,671	115.8%	33,509	37,094	110.7%	60.0%	57.4%
静岡	24	25	34,575	42,905	124.1%	20,800	26,791	128.8%	60.2%	62.4%
岡山	24	25	31,728	37,942	119.6%	21,173	24,783	117.1%	66.7%	65.3%
神戸	25	24	30,748	35,428	115.2%	17,428	20,366	116.9%	56.7%	57.5%
群馬	24	25	28,280	32,878	116.3%	18,298	21,104	115.3%	64.7%	64.2%
東北	24	24	33,128	31,954	96.5%	24,444	22,661	92.7%	73.8%	70.9%
埼玉	25	25	26,074	28,654	109.9%	15,393	16,729	108.7%	59.0%	58.4%
新潟	24	24	22,404	22,448	100.2%	10,362	9,968	96.2%	46.3%	44.4%
福岡	24	24	18,579	19,632	105.7%	9,328	10,650	114.2%	50.2%	54.2%
北陸	25	24	6,818	7,172	105.2%	4,370	4,458	102.0%	64.1%	62.2%
合計	389	391	1,123,273	1,212,427	107.9%	726,825	772,720	106.3%	64.7%	63.7%

※JBAの実績は含めておりません。

※2017年4月から9月の実績にJAA、HAAは含めておりません。

オートオークションのセグメント⑤

(単位：台、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
出品台数	2015年度	240,027	180,560	188,060	198,744	143,557	196,546	1,147,494	221,602	188,116	173,302	179,967	208,405	275,123	1,246,515	2,394,009
	増減率	6.7	▲0.4	5.7	2.6	▲8.6	2.8	1.9	0.3	▲3.6	3.7	1.6	1.1	5.5	1.6	1.7
	2016年度	233,303	165,327	195,240	186,899	141,275	201,229	1,123,273	186,409	197,643	174,983	172,609	209,027	289,592	1,230,263	2,353,536
	増減率	▲2.8	▲8.4	3.8	▲6.0	▲1.6	2.4	▲2.1	▲15.9	5.1	1.0	▲4.1	0.3	5.3	▲1.3	▲1.7
	2017年度	234,454	183,593	218,888	195,997	169,623	209,872	1,212,427	238,322						238,322	1,450,749
	増減率	0.5	11.0	12.1	4.9	20.1	4.3	7.9	27.8						-	-
成約台数	2015年度	146,183	116,850	128,131	134,479	99,117	129,929	754,689	146,362	122,078	111,421	118,004	135,810	174,035	807,710	1,562,399
	増減率	8.5	1.1	11.1	6.9	▲4.8	▲0.8	3.9	0.1	▲4.5	2.5	▲3.0	▲4.7	1.2	▲1.4	1.1
	2016年度	140,412	109,067	127,811	122,962	93,386	133,187	726,825	121,245	126,888	110,392	109,986	135,605	177,902	782,018	1,508,843
	増減率	▲3.9	▲6.7	▲0.2	▲8.6	▲5.8	2.5	▲3.7	▲17.2	3.9	▲0.9	▲6.8	▲0.2	2.2	▲3.2	▲3.4
	2017年度	138,362	116,398	138,964	127,444	112,434	139,118	772,720	152,222						152,222	924,942
	増減率	▲1.5	6.7	8.7	3.6	20.4	4.5	6.3	25.5						-	-
成約率	2015年度	60.9	64.7	68.1	67.7	69.0	66.1	65.8	66.0	64.9	64.3	65.6	65.2	63.3	64.8	65.3
	2016年度	60.2	66.0	65.5	65.8	66.1	66.2	64.7	65.0	64.2	63.1	63.7	64.9	61.4	63.6	64.1
	2017年度	59.0	63.4	63.5	65.0	66.3	66.3	63.7	63.9						-	-

※JBAの実績は含めておりません。

※2017年10月よりJAA、HAAの実績を含めております。

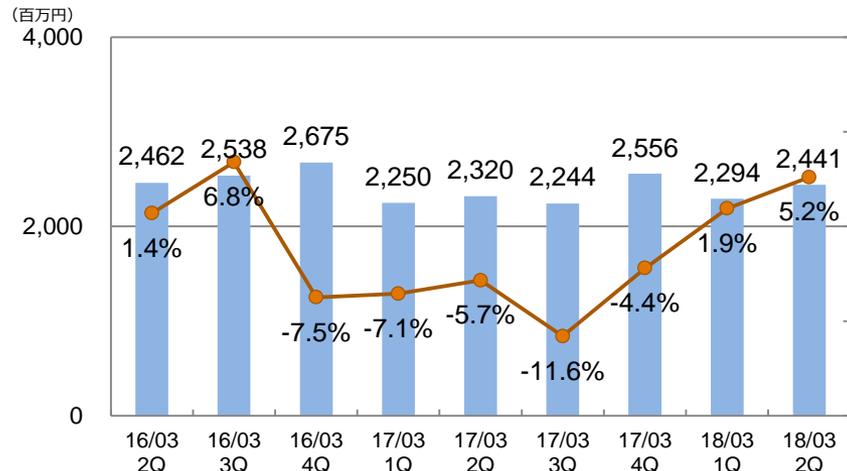
- 中古自動車買取専門店「ラビット」は、台当たり粗利益の減少などにより減収減益。
(売上高2,839百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益80百万円(前年同期比39.2%減))
- 事故現状車買取販売事業は、販売台数の減少などにより減益。
(売上高1,896百万円(前年同期比13.1%増)、営業利益32百万円(前年同期比11.1%減))

中古自動車等買取販売のセグメント第2四半期業績 (累計)

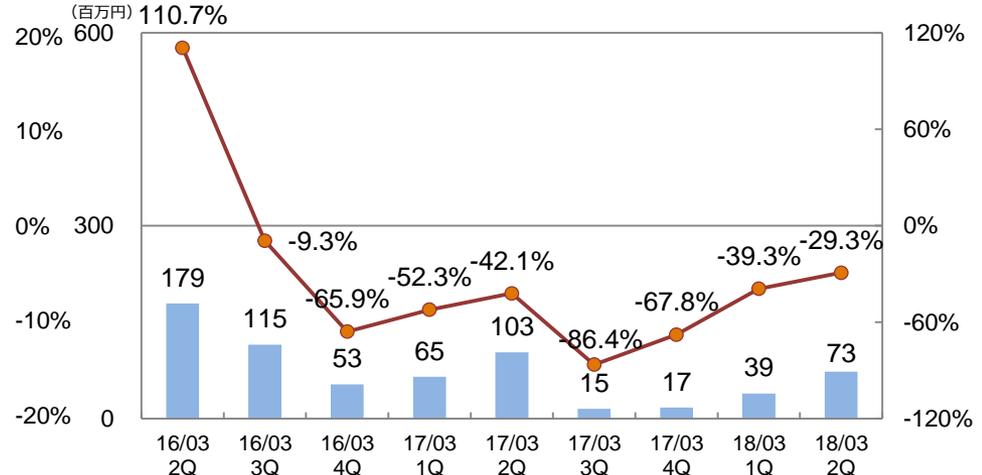
(単位：百万円)

	2015.9	2016.9	2017.9	前年同期比
売上高	4,883	4,571	4,736	103.6%
営業利益	316	169	113	66.8%
営業利益率	6.5%	3.7%	2.4%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

その他のセグメント

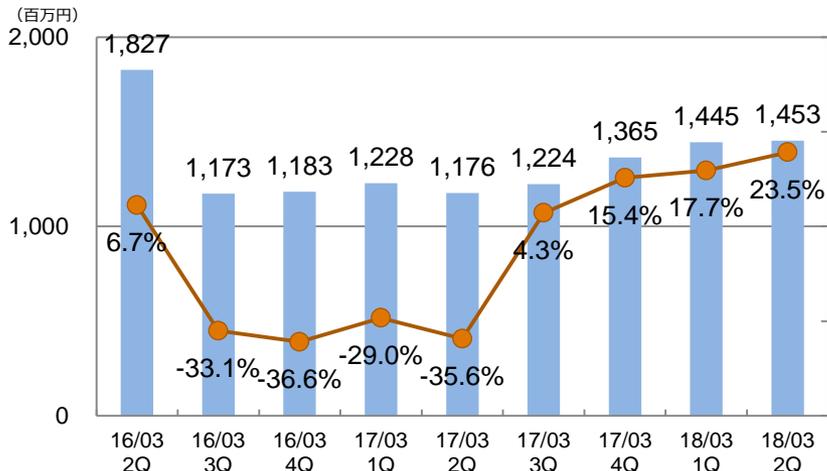
- リサイクル事業は、取扱量の増加や金属スクラップ相場が好調に推移したことなどから増収増益。
(売上高2,621百万円(前年同期比21.6%増)、営業利益289百万円(前年同期比276.7%増))
- 中古自動車輸出手続代行サービス事業は増収増益。
(売上高225百万円(前年同期比13.2%増)、営業利益14百万円(前年同期実績 営業損失5百万円))

その他のセグメント第2四半期業績 (累計)

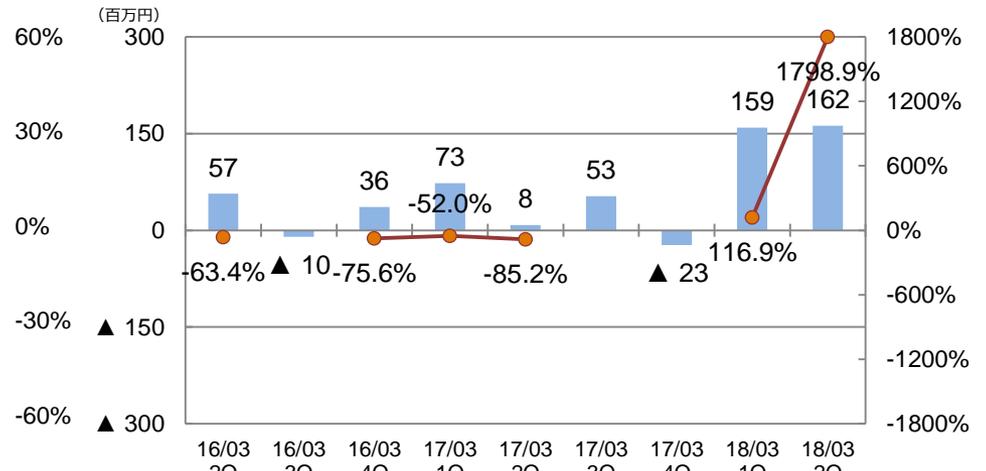
(単位: 百万円)

	2015.9	2016.9	2017.9	前年同期比
売上高	3,558	2,405	2,899	120.5%
営業利益	211	82	321	392.0%
営業利益率	5.9%	3.4%	11.1%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

2018年3月期 通期連結業績予想

■ JAAの株式取得により、2018年3月期の業績予想を上方修正。

(単位：百万円)

	2017.3 (実績)	2018.3当初計画 5/11発表	修正額	2018.3修正計画 11/6発表	修正計画/前期比
売上高	67,179	68,800	5,900	74,700	111.2%
売上総利益 (売上比)	40,765 (60.7%)	41,932 (60.9%)	3,810	45,742 (61.2%)	112.2%
営業利益 (売上比)	32,396 (48.2%)	33,400 (48.5%)	2,400	35,800 (47.9%)	110.5%
経常利益 (売上比)	32,999 (49.1%)	33,900 (49.3%)	2,500	36,400 (48.7%)	110.3%
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上比)	22,909 (34.1%)	23,200 (33.7%)	800	24,000 (32.1%)	104.8%
1株当たり当期純利益 (円)	90.02	91.34	3.14	94.48	105.0%
設備投資(支出ベース)	5,878	5,100	▲400	4,700	80.0%
減価償却費	4,596	4,627	200	4,827	105.0%

オートオークション事業(JBA除く)	2017.3 (実績)	2018.3当初計画 5/11発表	修正額	2018.3修正計画 11/6発表	修正計画/前期比
出品台数 (千台)	2,353	2,400	360	2,760	117.3%
成約台数 (千台)	1,508	1,520	200	1,720	114.0%
成約率	64.1%	63.3%	-	62.3%	-

※2018年3月期修正計画はJAA新規連結に伴うのれんの償却期間を20年と仮定して算出しております。

2018年3月期下期 営業利益増減分析（予想）

売上高要因

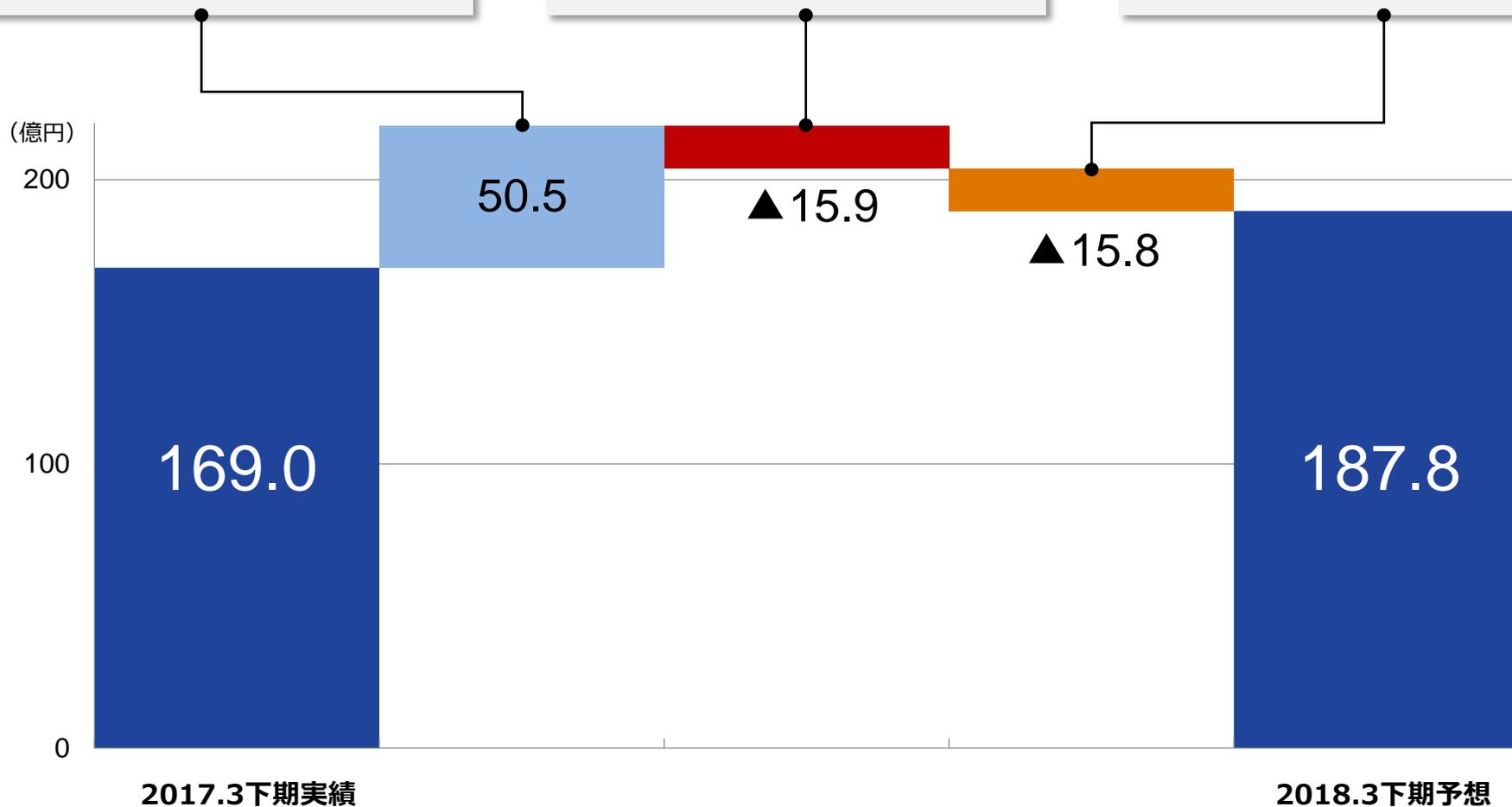
廃自動車等のリサイクル増	2.4億円
中古自動車買取販売減	▲1.0億円
手数料単価減(JAA除く)	▲0.7億円
JAAの影響額	49.7億円

売上原価要因

原材料仕入原価増	▲1.4億円
商品売上原価減	1.6億円
消耗品費減	1.4億円
JAAの影響額	▲16.7億円

販管費要因

租税公課減	1.5億円
従業員給与・賞与増	▲1.3億円
JAAの影響額	▲16.4億円
(うち、のれん償却額)	▲6.7億円



※「JAAの影響額」には、(株)JAA、(株)HAA神戸、(株)オークション・トランスポートを含めております。
 ※2018年3月期下期予想はJAA新規連結に伴うのれんの償却期間を20年と仮定して算出しております。

2018年3月期 営業利益増減分析 (予想)

売上高要因

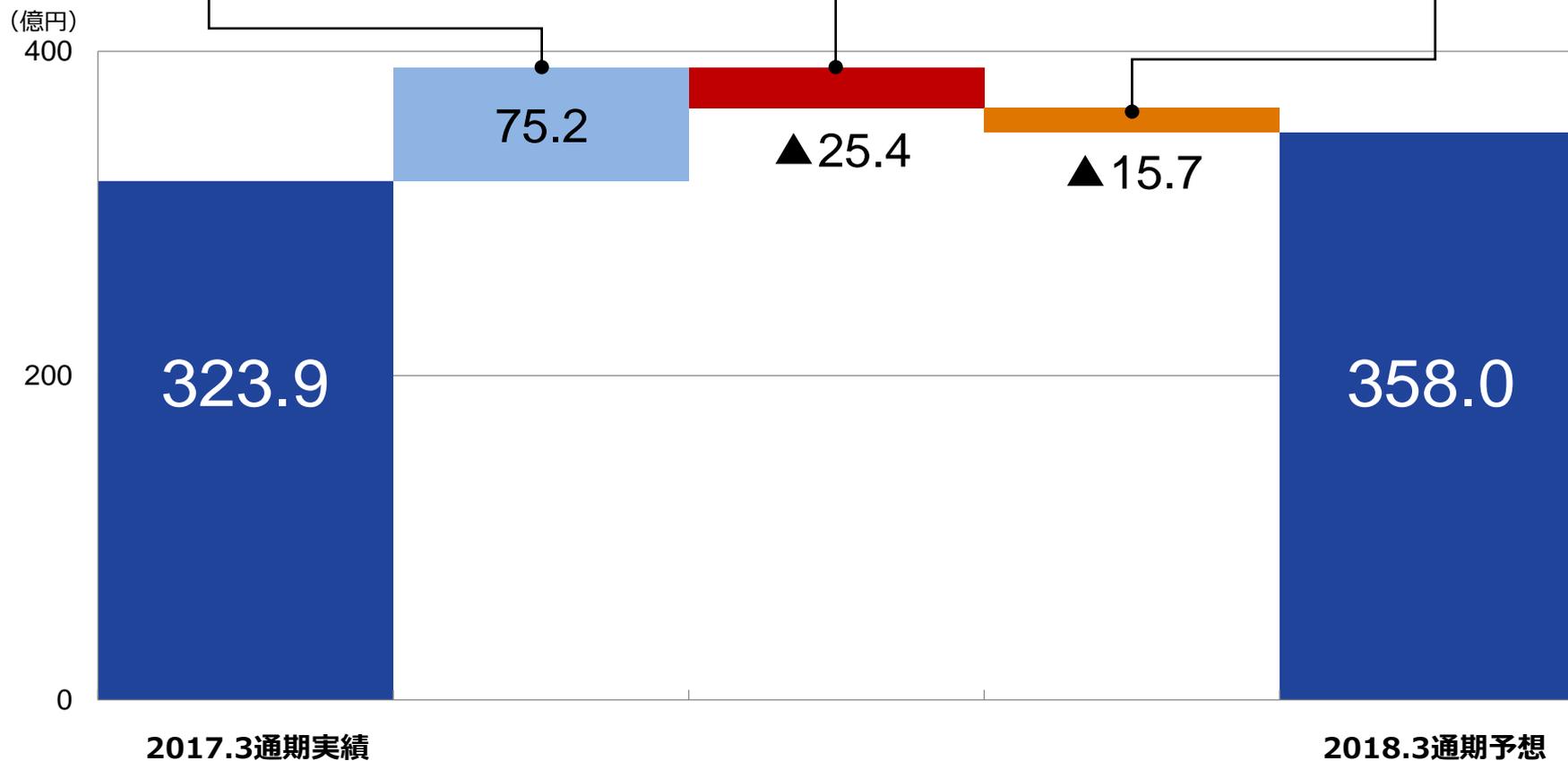
出品台数増(JAA除く)	15.4億円
廃自動車等のリサイクル増	7.1億円
CIS(インターネット)収入増	3.1億円
JAAの影響額	49.7億円

売上原価要因

原材料仕入原価増	▲3.6億円
商品売上原価増	▲3.3億円
業務委託費増	▲1.2億円
消耗品費減	1.4億円
JAAの影響額	▲16.7億円

販管費要因

租税公課減	1.1億円
JAAの影響額	▲16.4億円
(うち、のれん償却額)	▲6.7億円



※「JAAの影響額」には、(株)JAA、(株)HAA神戸、(株)オークション・トランスポートを含めております。
 ※2018年3月期予想はJAA新規連結に伴うのれんの償却期間を20年と仮定して算出しております。

(単位：百万円)

	2017.3 (実績)	2018.3当初計画 5/11発表	修正額	2018.3修正計画 11/6発表	修正計画／前期比
売上高					
オートオークション	52,811	53,747	5,721	59,469	112.6%
中古自動車等買取販売	9,373	9,496	▲36	9,460	100.9%
その他	4,995	5,555	214	5,769	115.5%
合計	67,179	68,800	5,900	74,700	111.2%
営業利益 (売上比)	32,396 (48.2%)	33,400 (48.5%)	2,400	35,800	110.5%

※2018年3月期修正計画はJAA新規連結に伴うのれんの償却期間を20年と仮定して算出しております。

市場環境認識と 中期的な価値創造に向けた戦略

■国内新車販売：中期的にも大幅な拡大は見込み難い。

- USSの戦略

- 1) JAA子会社化で近畿地区での市場シェアを大幅アップ。関東も市場シェアを高め、関東、中部、近畿地区の3大需要地全てで市場シェア40%以上を獲得
- 2) 競争力強化のためJAAグループに対して追加設備投資を計画
 - ①2018年8月 HAA神戸のオークションシステムをリプレース
 - ②2019年初頭 JAAのオークション会場を新築建替え

■中古車輸出：短期的には、仕向先の経済環境、輸入規制等、為替動向に左右されるも中期的には安定的に推移

- USSの戦略

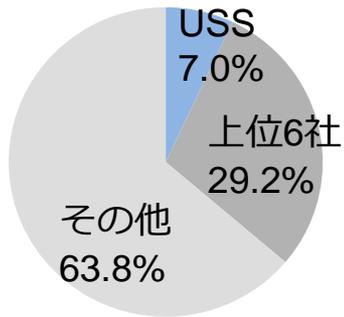
- 1) 国内外問わず、全国各地域で最も良質な中古車が集まるオートオークションを目指し、さらなる市場シェアの拡大を狙う。

オートオークション市場とUSSのシェア

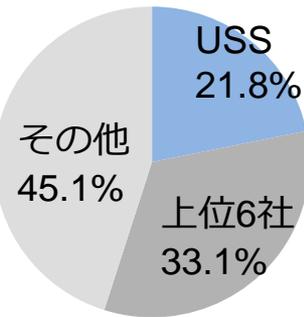
■ 金融危機(2008-2009年)以降、市場が伸び悩む中でも高シェアを維持しながら利益を拡大。

■ JAAの子会社化で、市場シェアが大きく上昇。

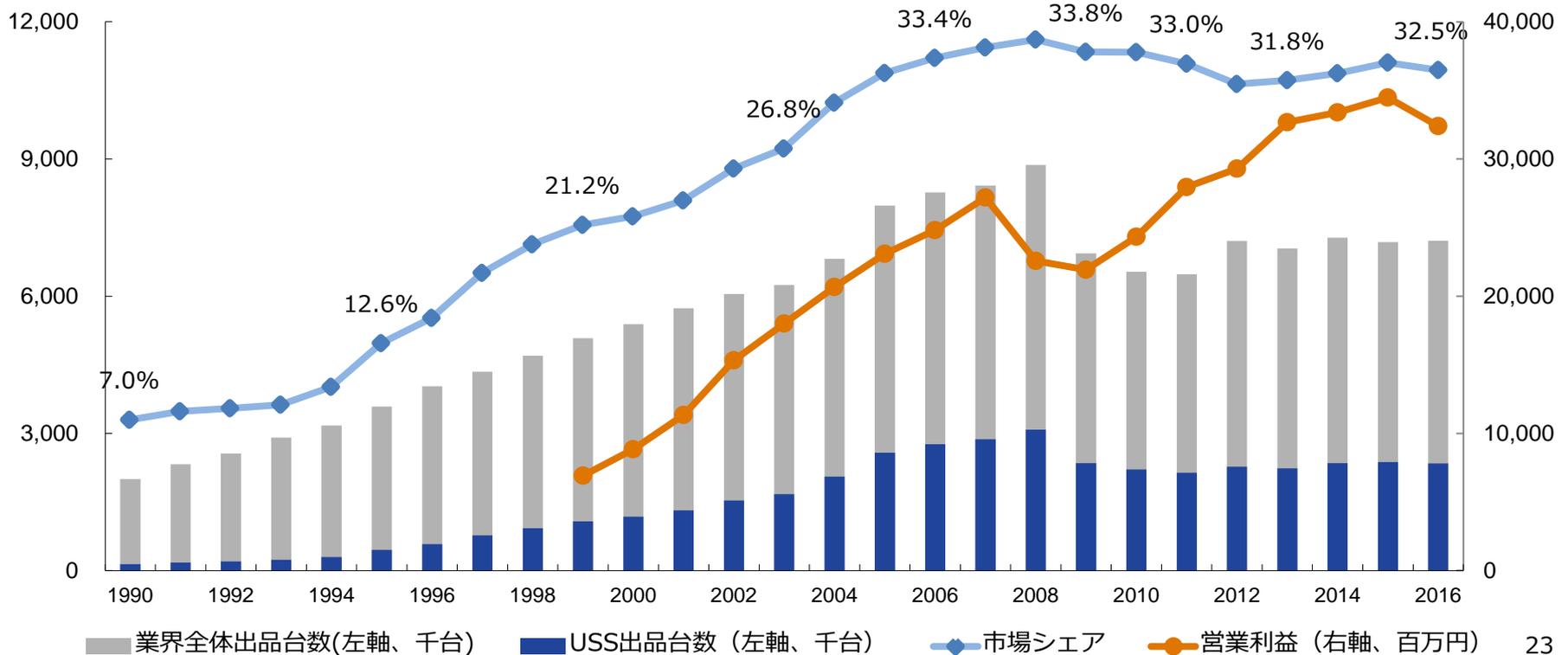
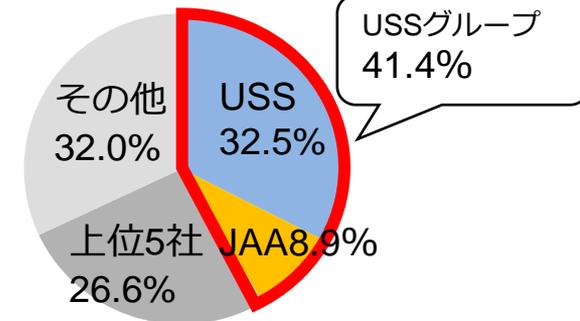
1990年(暦年)市場シェア



2000年(暦年)市場シェア



2016年(暦年)市場シェア



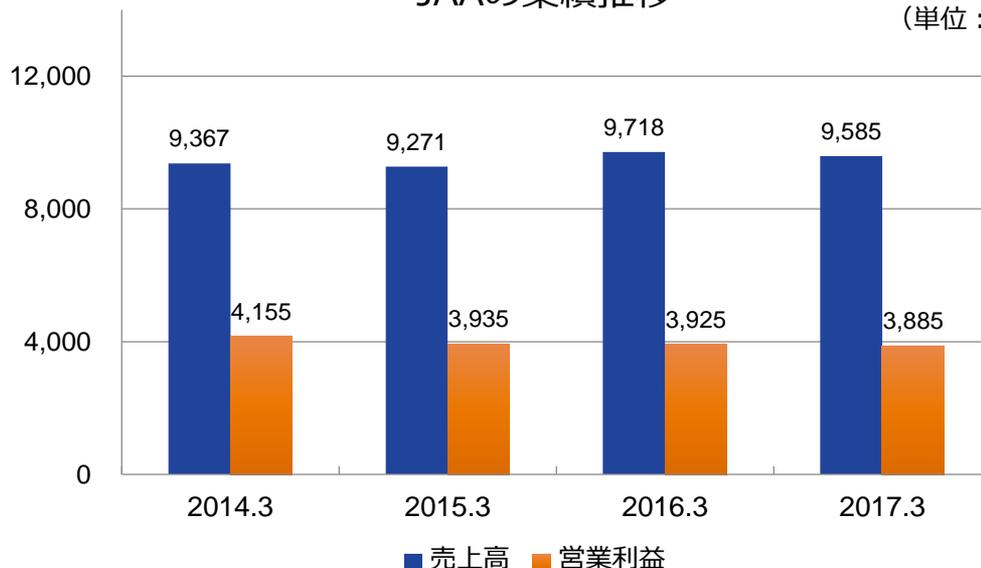
- 公正取引委員会の審査を通り、8月24日、JAAの株式66.04%を取得
- 取得価格363億円
- 100%取得に向けて協議中

【業績への影響について】

- JAAの継続事業の売上高は約95億円、営業利益率は40%
- のれんの償却期間20年を仮定/償却額は年間13.5億円
- のれん代償却前のEBITDAは約12%の増加

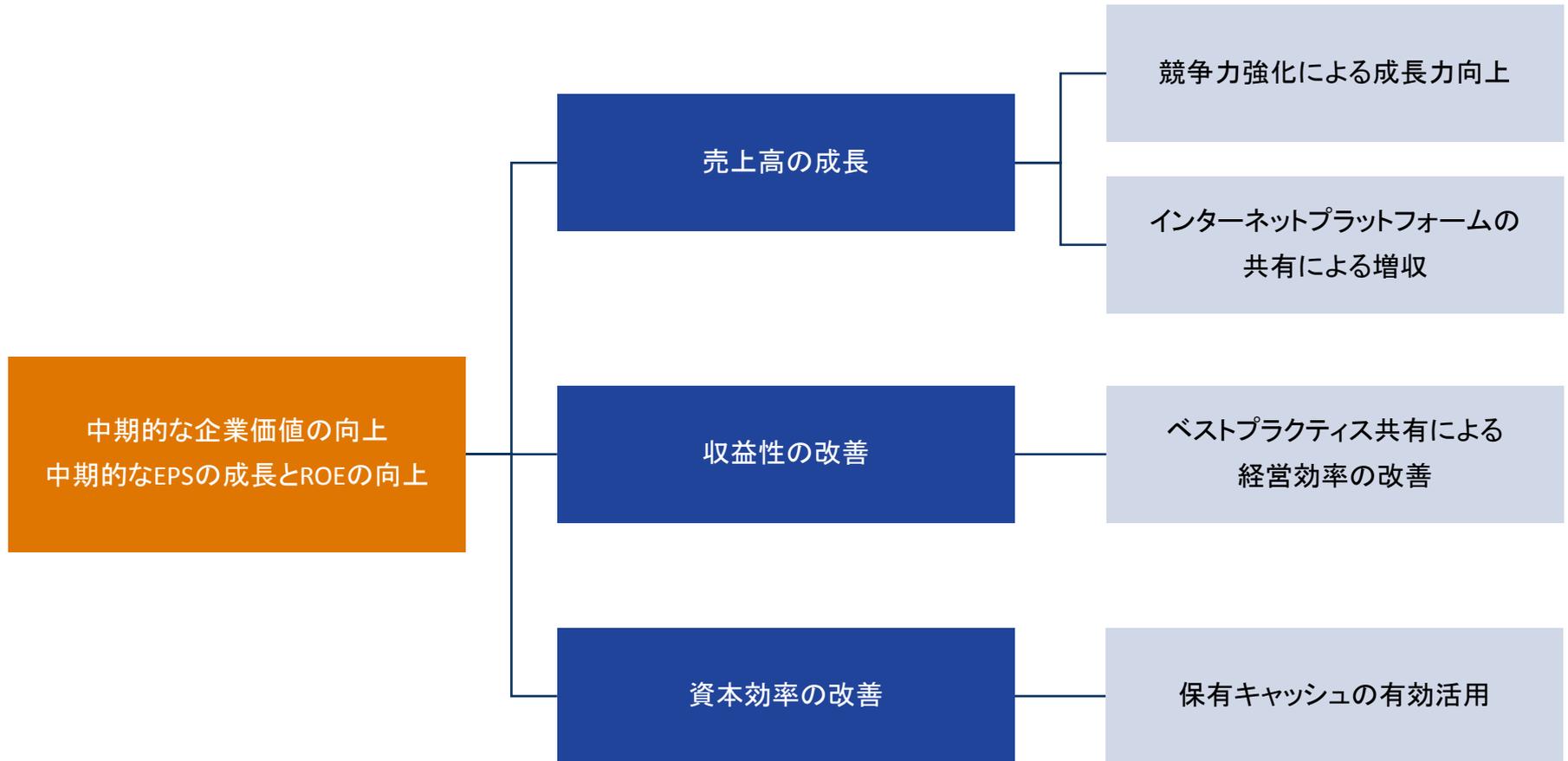
JAAの業績推移

(単位：百万円)



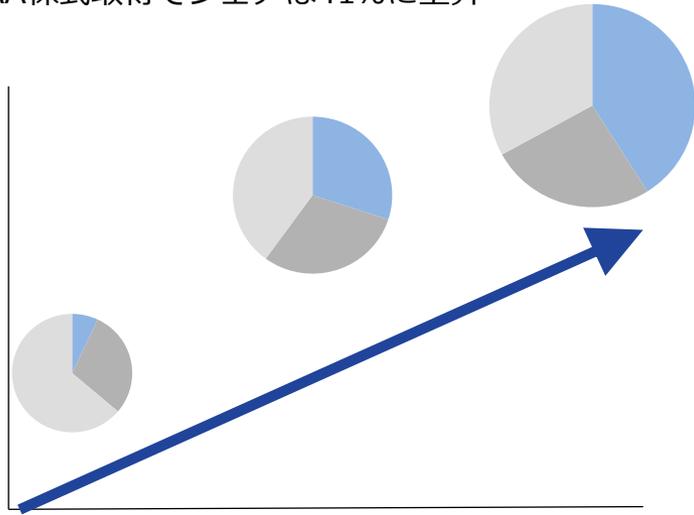
(単位：百万円)

2017年3月期主要データ	JAA	USS (参考)
売上高	9,585	67,179
営業利益	3,885	32,396
営業利益率	40.5%	48.2%
純利益	2,574	22,909
純資産	12,680	159,197
ROE	22.7%	14.7%
市場シェア	8.9%	32.5%
市場シェアあたり時価総額	6,179	22,187



JAA株式取得で市場シェア上昇 = 競争力強化へ

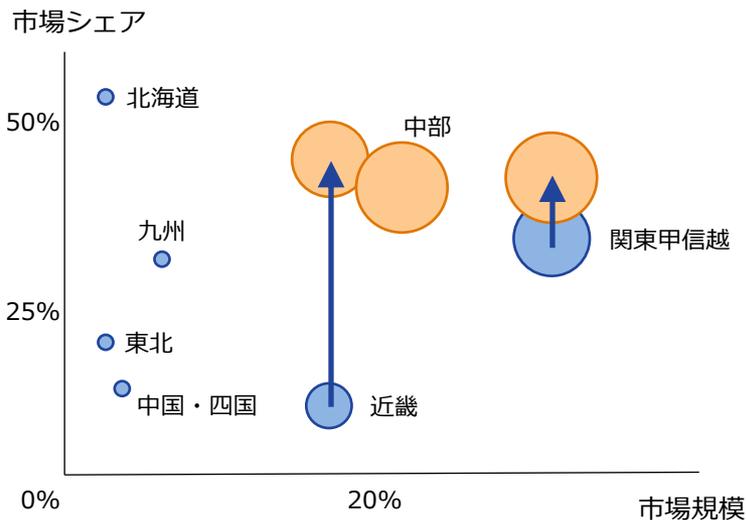
JAA株式取得でシェアは41%に上昇



オートオークションはプラットフォームビジネスであり、規模拡大は競争力強化に貢献する

- 国内市場シェア： **32.9%→41.4%**
- 特に課題であった近畿の市場シェア：**14.2%→48.5%**に上昇
- 関東、中部、近畿の3大市場でそれぞれ**40%**を上回る市場シェアを獲得

JAA株式取得で近畿と関東・甲信越のシェアが上昇



JAA株式取得で3大需要地で40%を超えるシェアを確保

	全国構成比	地域シェア		
		USS	JAA	合計シェア
北海道	3.4%	54.9%	0.0%	54.9%
東北	4.4%	20.0%	0.0%	20.0%
関東・甲信越	35.1%	38.5%	6.2%	44.7%
中部	22.8%	44.5%	0.0%	44.5%
近畿	18.5%	14.2%	34.3%	48.5%
中国・四国	5.8%	16.4%	0.0%	16.4%
九州・沖縄	9.4%	31.2%	0.0%	31.2%
TV	0.6%	-	-	-
	100.0%	32.9%	8.5%	41.4%

※2017年1-6月実績

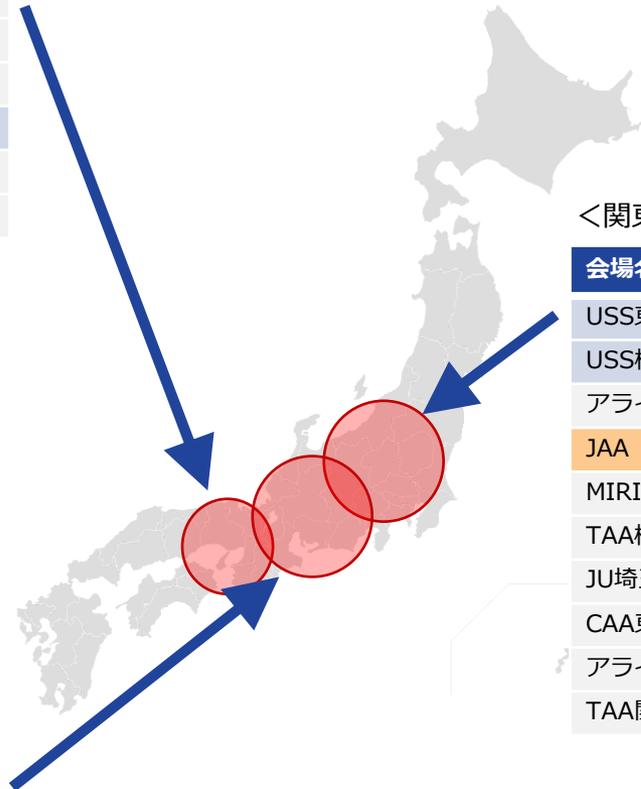
<近畿地区>

会場名	出品台数	シェア
HAA神戸	252,166	34.3%
USS大阪	70,785	9.6%
TAA近畿	64,563	8.8%
ハナデンAA	61,728	8.4%
ベイオーク	58,542	8.0%
LAA関西	40,984	5.6%
いすゞモーターA神戸	33,945	4.6%
USS神戸	33,617	4.6%
ホンダAA関西	29,692	4.0%
IAA	26,727	3.6%

<中部地区>

会場名	出品台数	シェア
USS名古屋	277,594	30.6%
JU岐阜	119,544	13.2%
CAA中部	100,731	11.1%
USS-R名古屋	74,099	8.2%
JU愛知	72,124	8.0%
TAA中部	52,220	5.8%
CAA岐阜	44,316	4.9%
USS静岡	44,057	4.9%
JU静岡	23,393	2.6%
NAA名古屋	19,194	2.1%

- オートオークションでは、大規模な会場に出品が集まる傾向が強い
- JAAグループのHAA神戸は近畿で圧倒的な市場シェアを持ち、近畿での競争力が大きく改善する



<関東・甲信越地区>

会場名	出品台数	シェア
USS東京	347,323	24.9%
USS横浜	100,288	7.2%
アライAA小山バントラ	94,613	6.8%
JAA	86,847	6.2%
MIRIVE	78,028	5.6%
TAA横浜	71,442	5.1%
JU埼玉	57,414	4.1%
CAA東京	57,209	4.1%
アライAAベイサイド	54,262	3.9%
TAA関東	53,715	3.9%

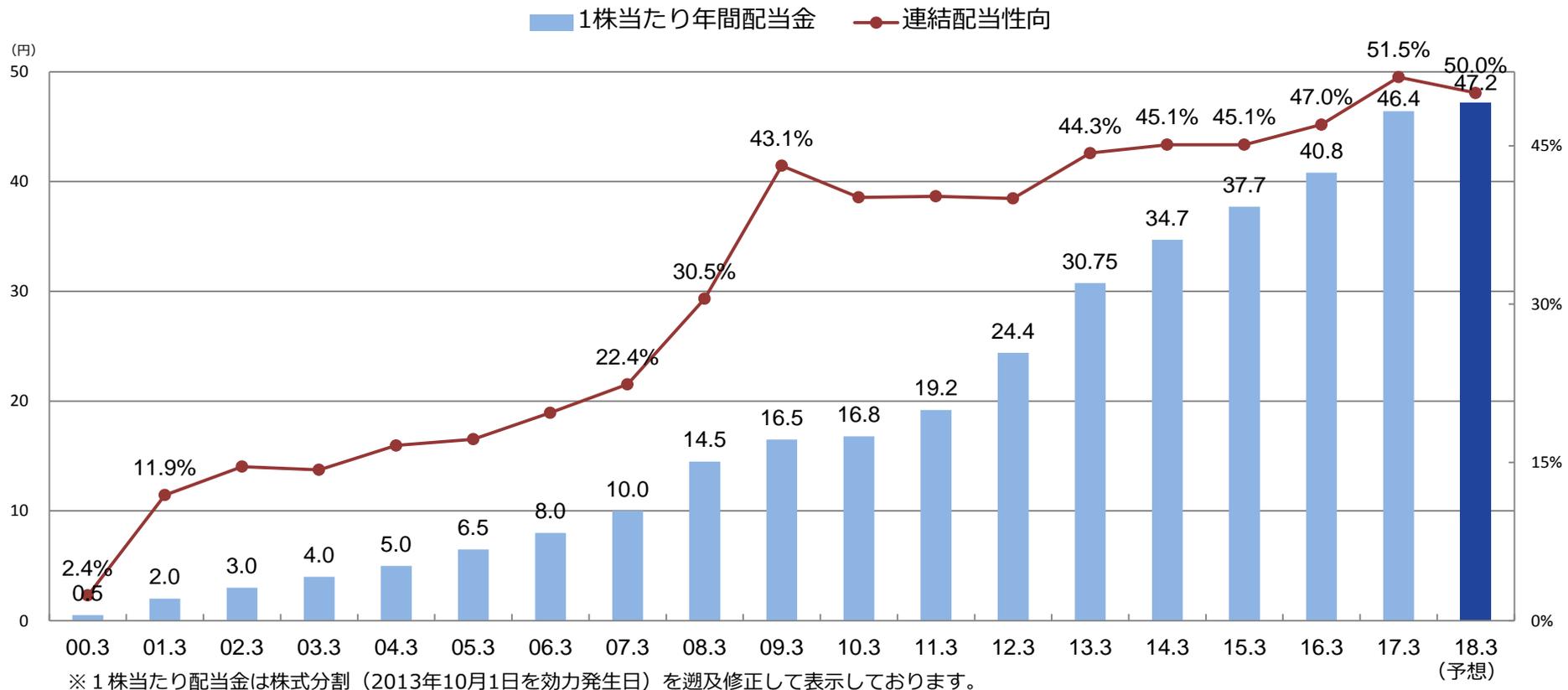
成長投資とともに株主還元の充実を継続

- 連結配当性向：2017年3月期から**50%**以上。
JAAの株式を取得したが、配当政策（連結配当性向50%以上）に変更なし。
- 自己株式取得：キャッシュ・フロー、設備投資計画、市場環境等を考慮のうえ、機動的に実施。
- 株主資本利益率（ROE）：中期的に15%以上の水準を目指す。

株主還元：配当政策

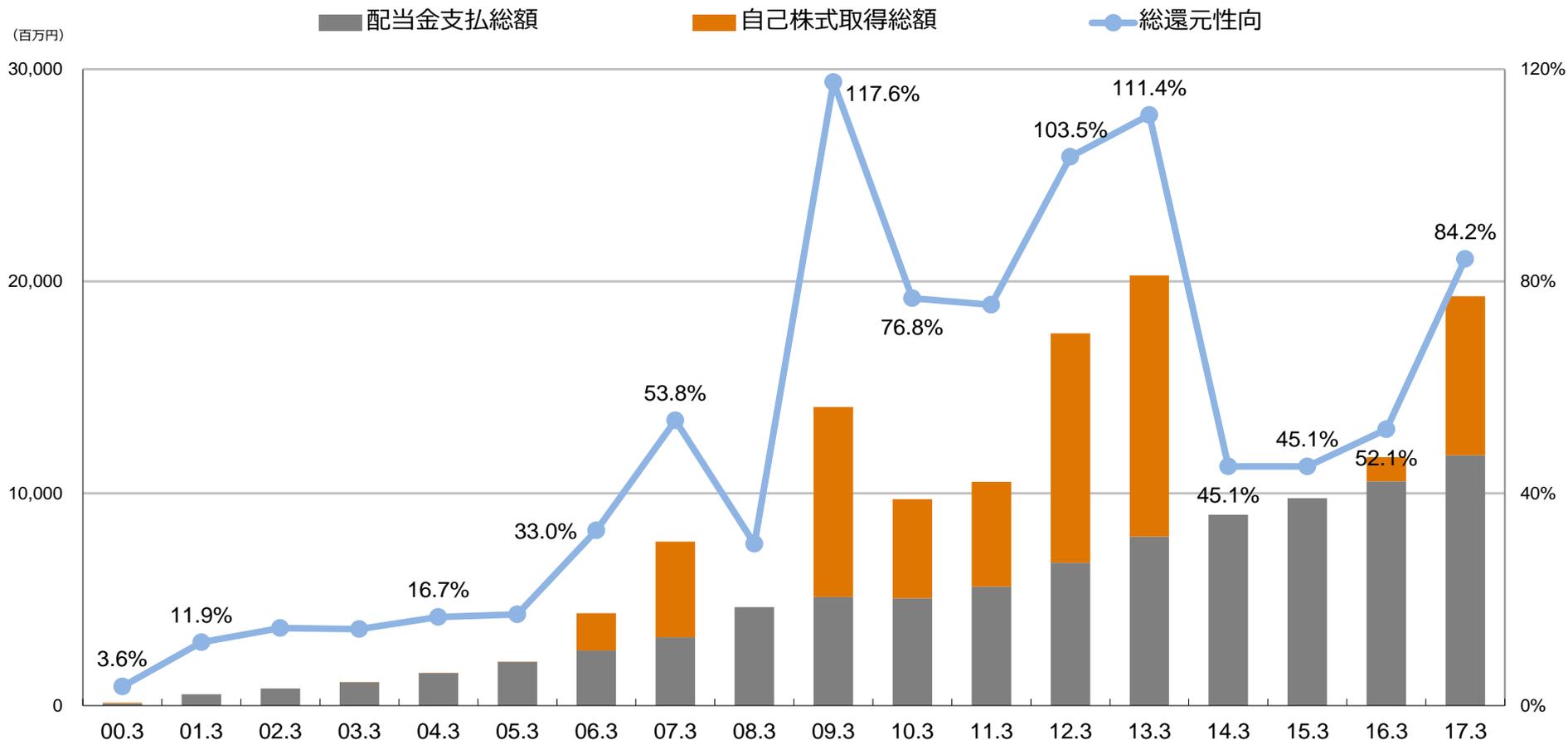
■2018年3月期の1株当たり年間配当金予想
47.0円⇒**47.2円**へ上方修正（前期比0.8円増）

■株式上場以来**18期**連続増配予想。



株主還元：総還元性向

- 安定的な配当増とともに、機動的な自己株式取得を実施。
- 今後は、JAA株式の追加取得とHAA神戸とJAAの設備投資を計画。

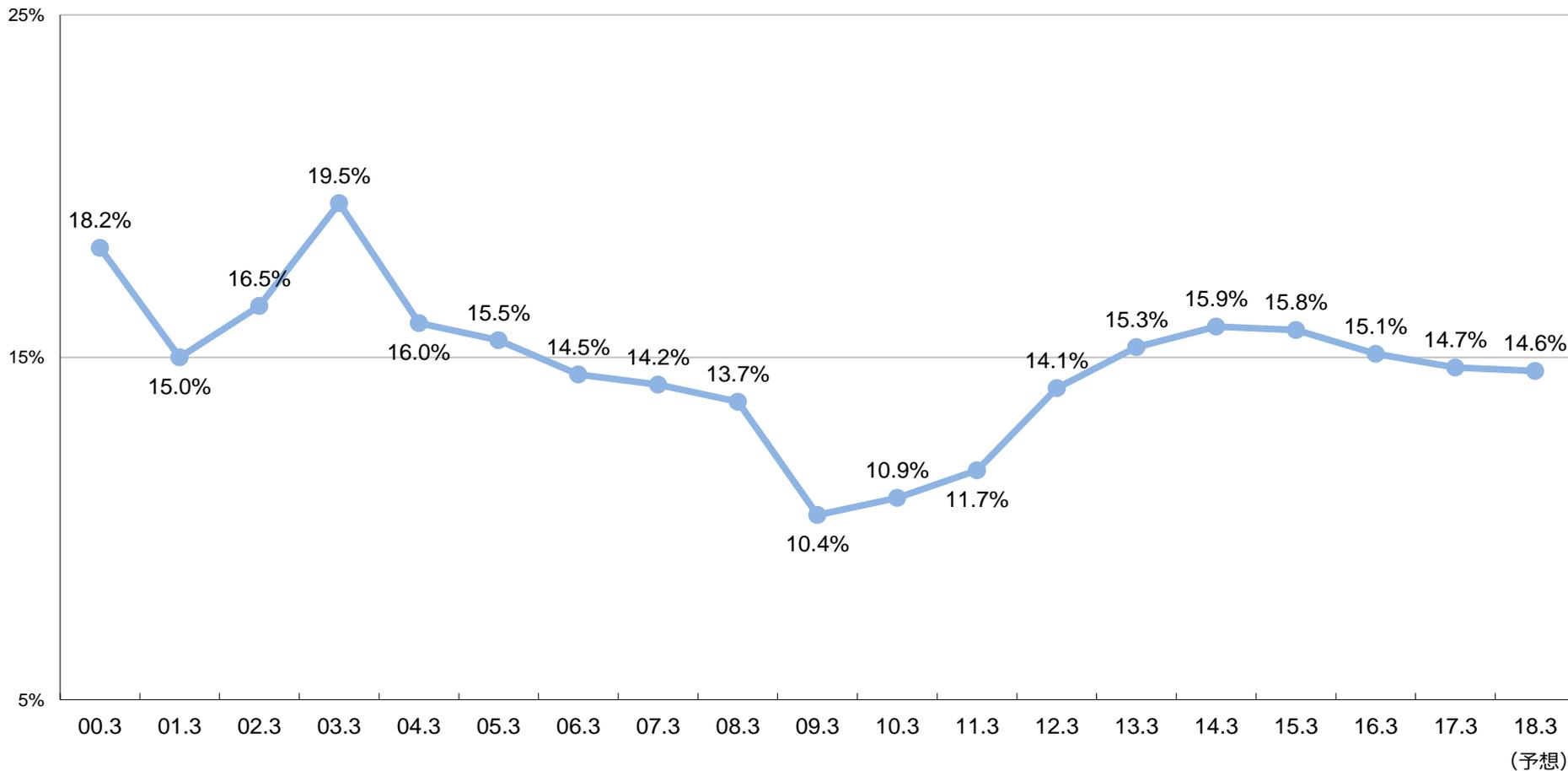


株主還元：株主資本利益率（ROE）

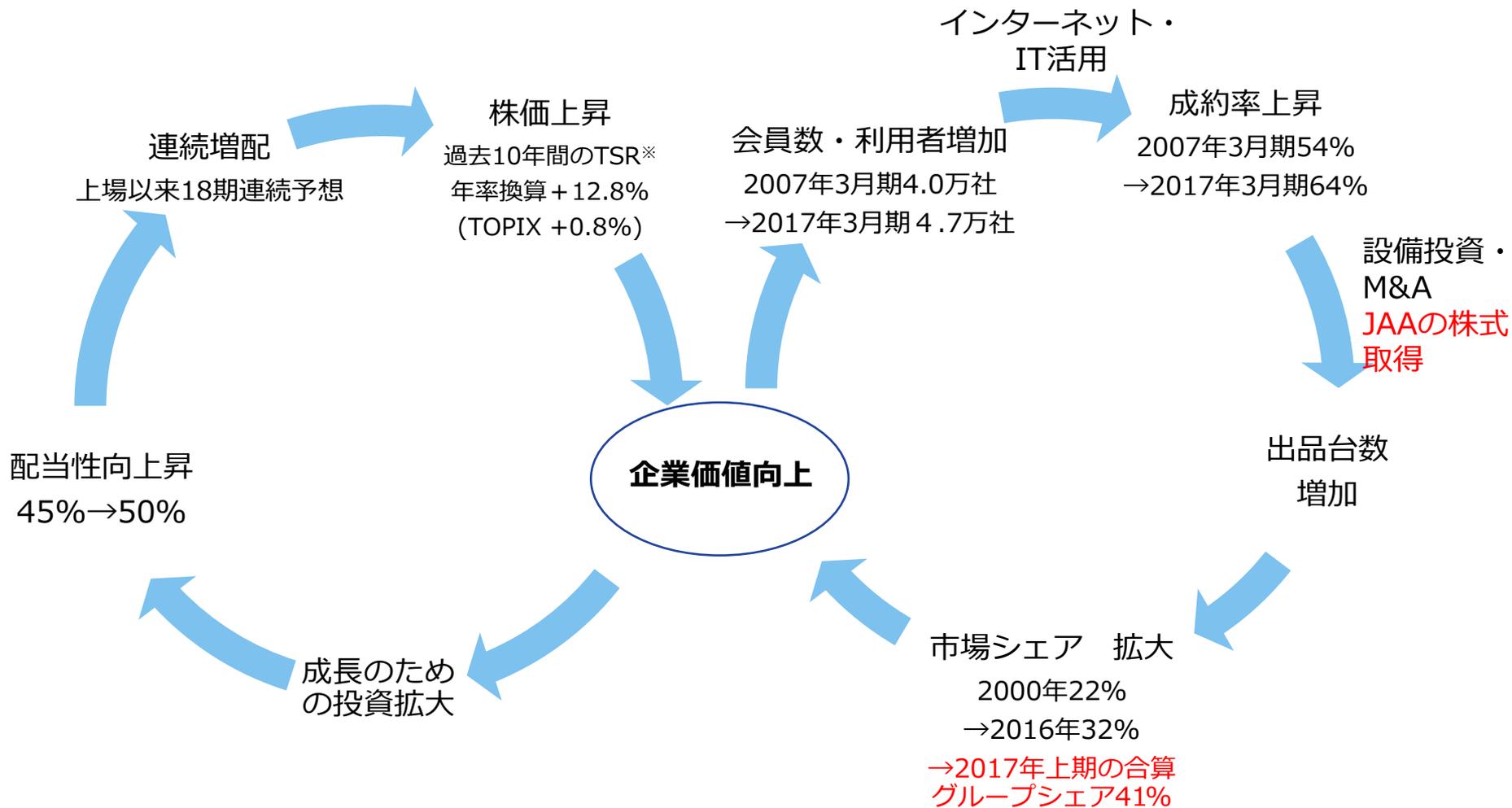
■中期的に15%以上の水準を目指す方針は不変。

■JAAの株式取得により2018年3月期のROE（予想）は14.2%⇒14.6%

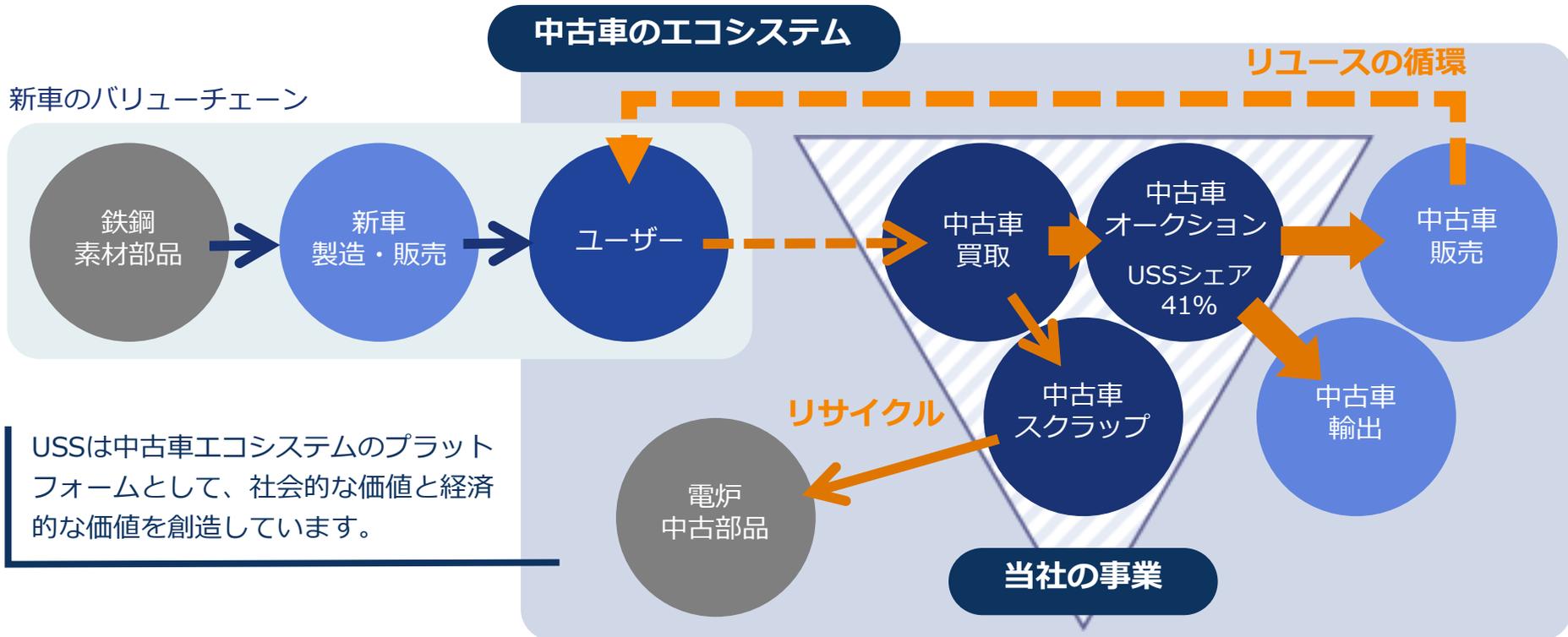
ROEの推移



■成長投資と株主還元の両輪で株主価値の向上を目指す。

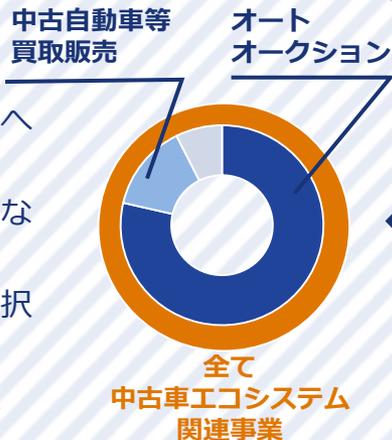


※TSRは2017年3月末現在で算出しております。



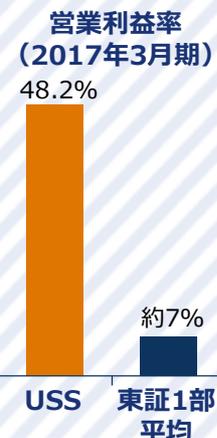
社会的価値の創造

- ◆ リサイクルのエコシステムへの貢献（環境負荷の軽減）
- ◆ 公正な価格形成による円滑な経済活動への貢献
- ◆ ユーザーのカーライフの選択肢の提供
- ◆ 新興国の経済発展への貢献



経済的価値の創造

- ◆ 出品者と落札者の両方から手数料を取る公正・効率的な価格形成システム構築の結果：
- ◆ 高い営業利益率（2017年3月期48.2%）
- ◆ 高いROE（2017年3月期14.7%）



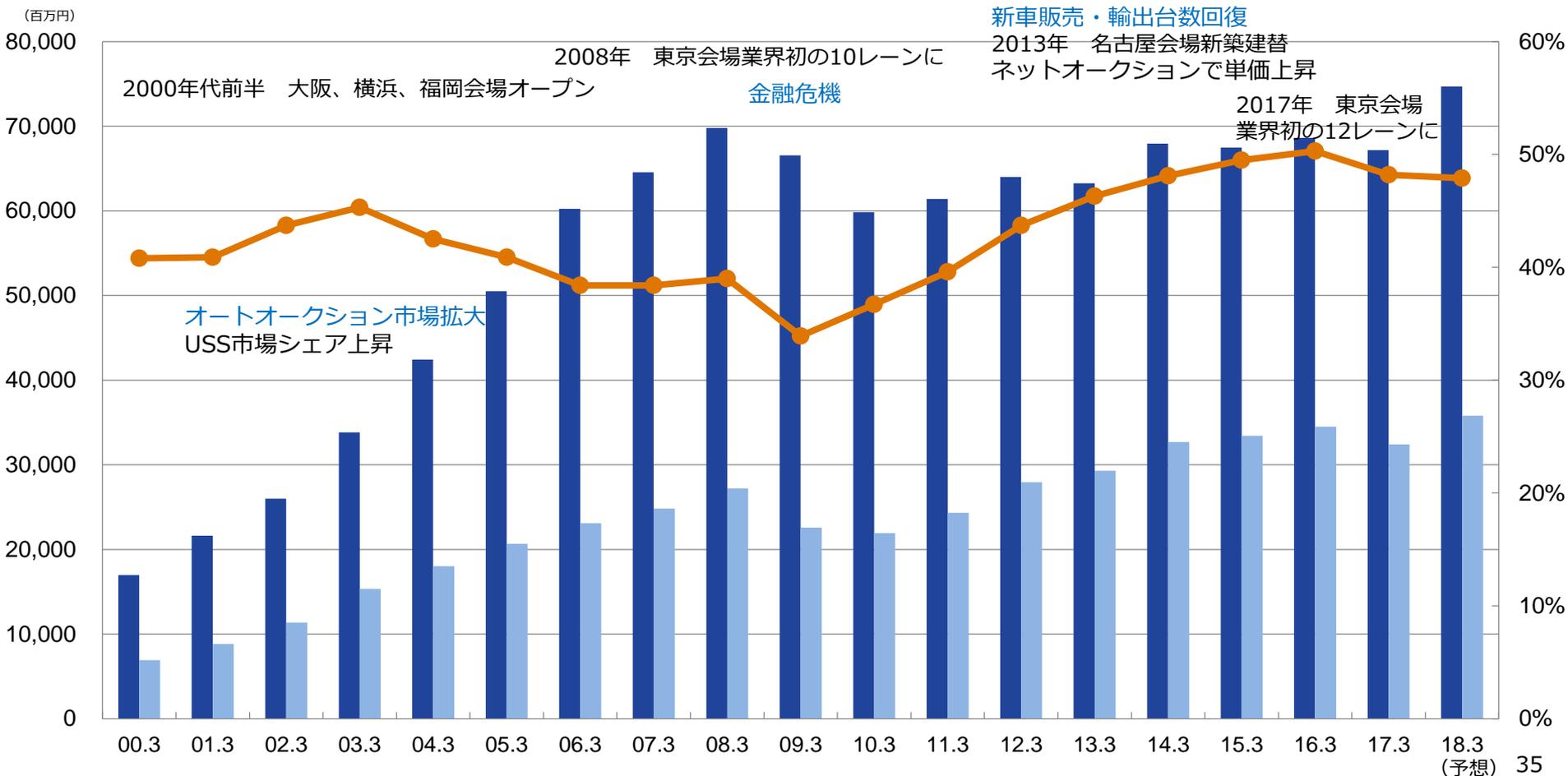
ご参考

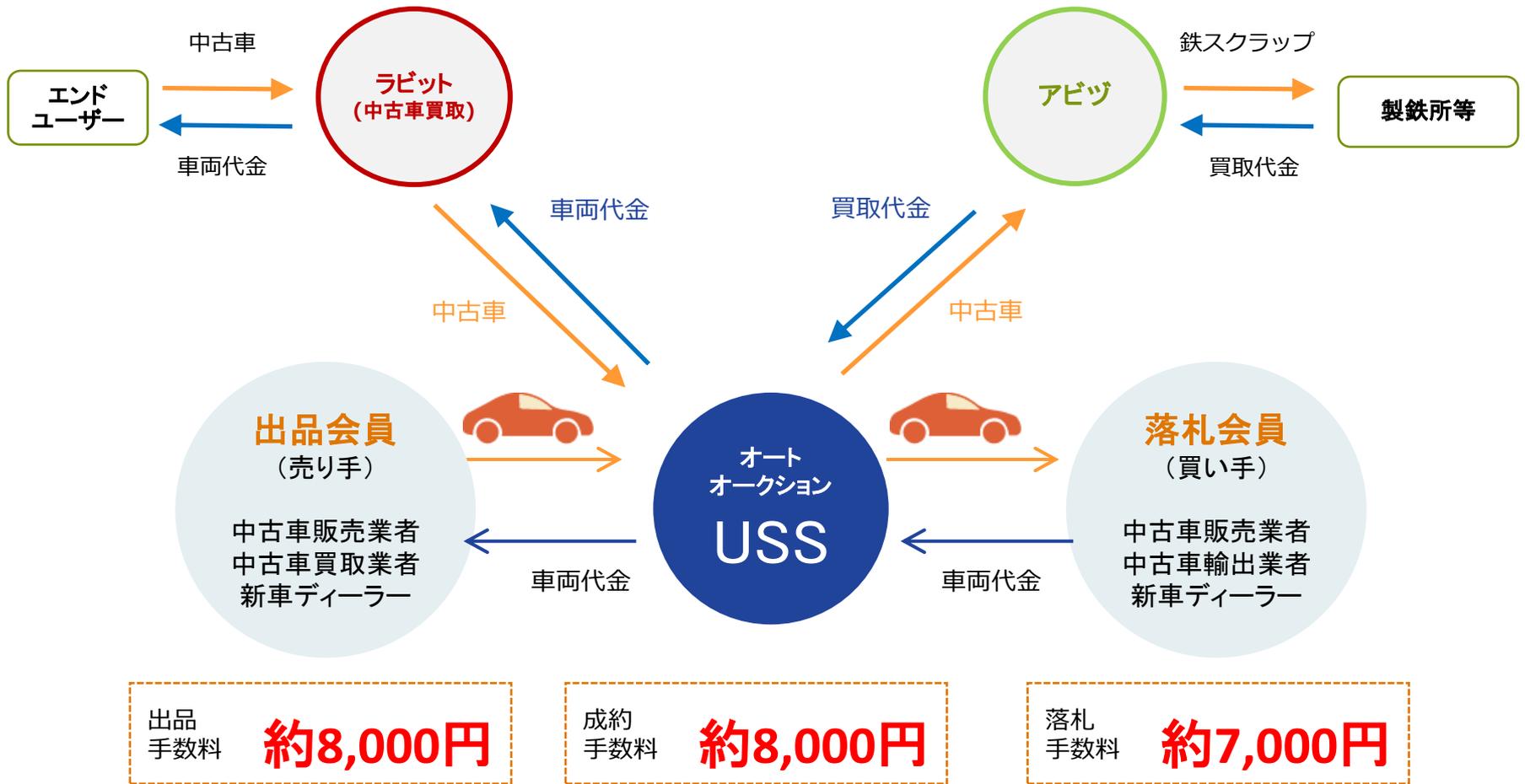
2000年以前の歴史

- 1982年 出品台数255台で第1回オートオークション開催。
- 88年 名古屋会場拡張 日本最大570席に
- 90年代前半 九州 東京会場オープン
- 90年代後半 岡山、静岡、札幌、西東京（現：埼玉）会場オープン

JAAの株式取得
3大需要地全てで市場シェア40%以上に

■ 売上高 ■ 営業利益 ● 営業利益率



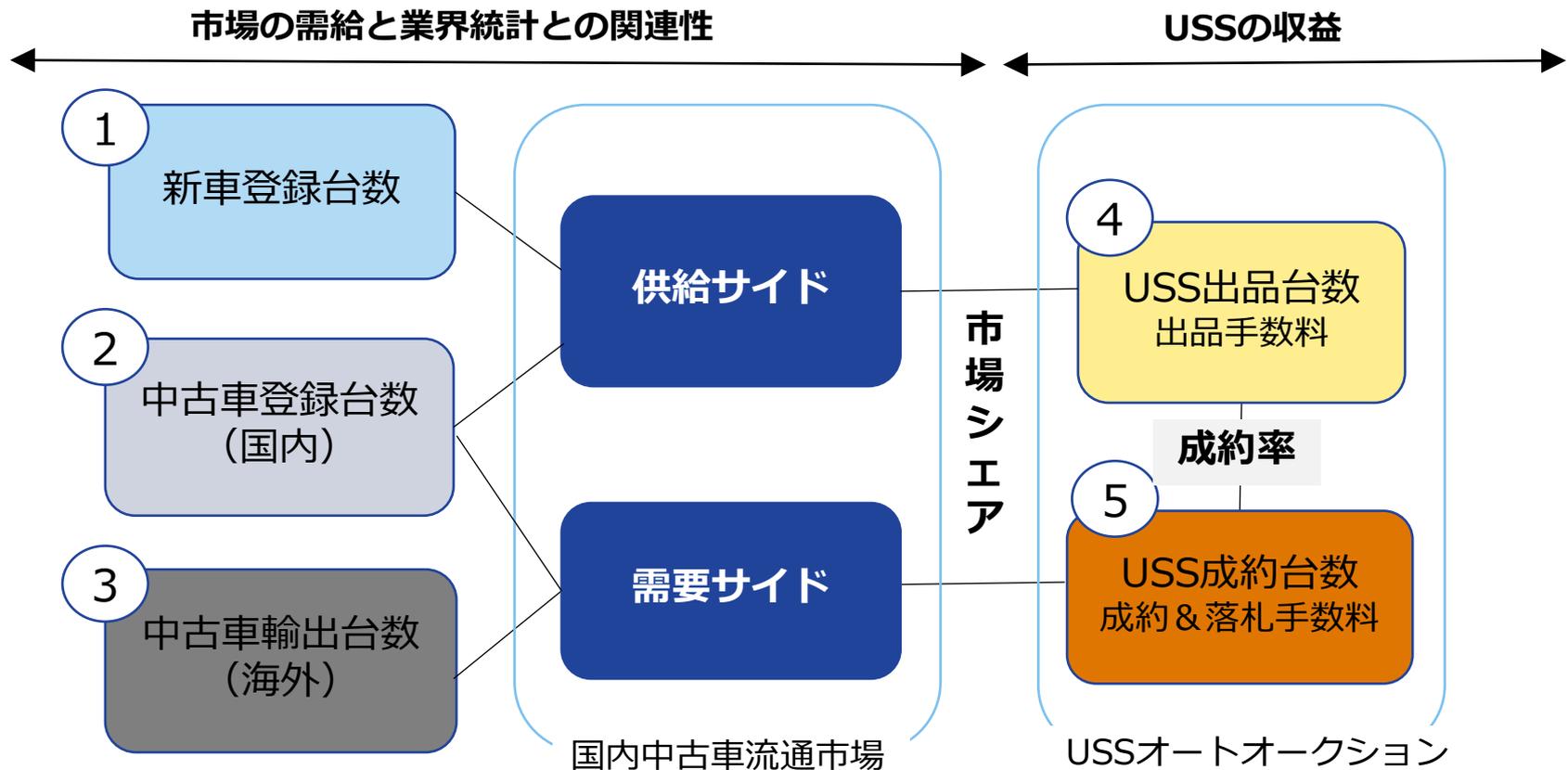


年間出品台数 **235万台**
(2017年3月期実績)

1台の成約につき
USSへの手数料 **約23,000円**

成約率 **64.1%**
(2017年3月期実績)

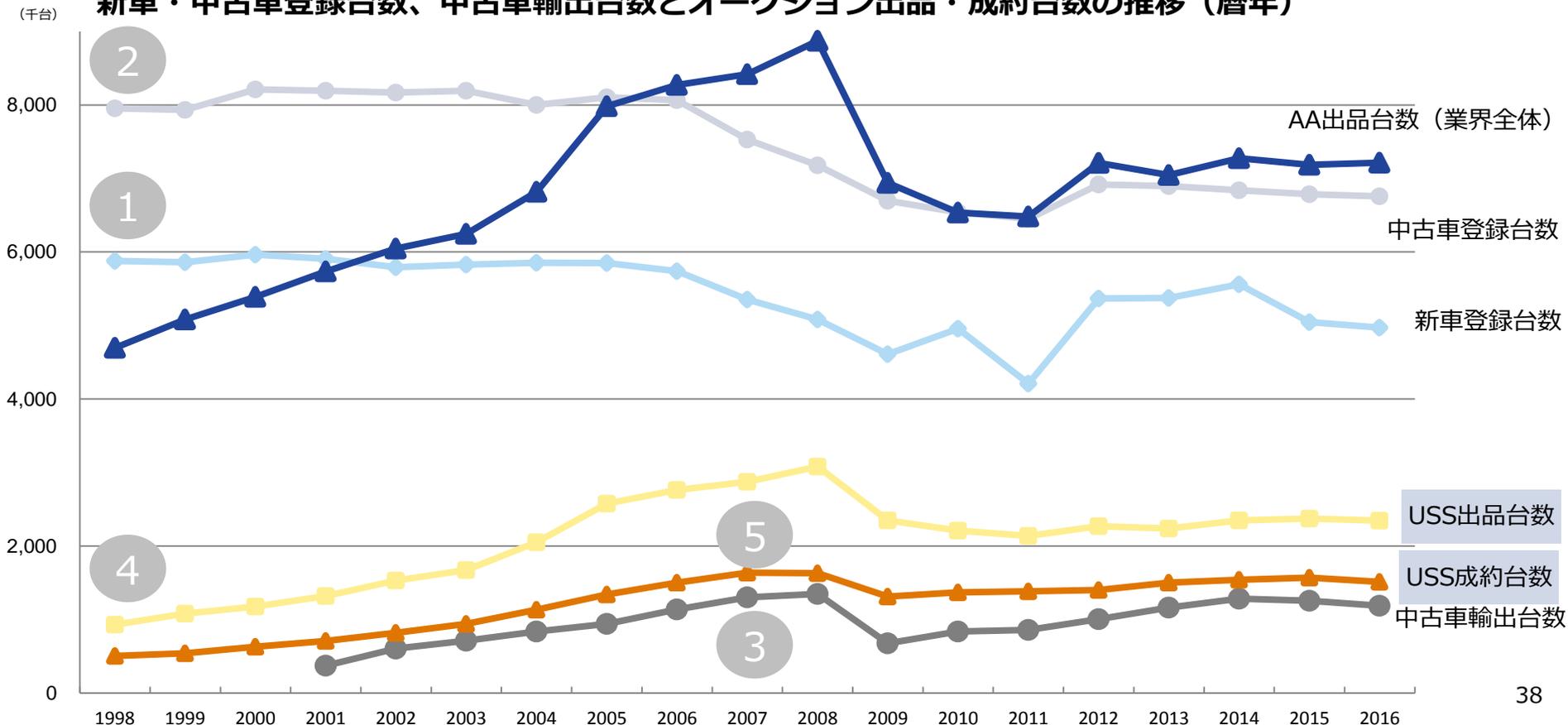
- オートオークション市場への中古車供給台数は、下取りを通して①新車登録台数と②中古車登録台数に連動。
- 需要サイドは国内外の中古車需要（②③）であり、近年は海外（輸出）が牽引。
- 上記市場要因に加え、オートオークション市場における市場シェア及び成約率が、USSオートオークションの収益変動要因となる。



新車・中古車登録台数とオートオークション市場の推移

- 2000年頃までは中古車流通におけるオークション利用率上昇により、オートオークション市場が拡大。
2000年代半ば以降は、低年式・多走行車などそれまで解体されていた車両がオートオークション会場へ流入し、オークション出品台数の増加が続いた。
- 金融危機（2008年後半）以降のオートオークション市場は新車登録台数（供給）と中古車輸出台数（需要）におおむね連動。➡ **2014年以降、両者とも減少傾向に。**

新車・中古車登録台数、中古車輸出台数とオークション出品・成約台数の推移（暦年）



- 継続的な事業拡大を通じて企業価値の向上を図ることを経営の目標に、ガバナンス体制の充実を図ってきた。
- 2012年度より執行役員制度の強化
- 2015年度より指名・報酬委員会設置
- 取締役・執行役員に対するストックオプション制度（2007年度より）

年度	2004	2006	...	2012	...	2017
取締役の数	12名	18名	→	12名	→	10名
うち社外取締役		4名	→	4名	→	3名

社外取締役制度導入

執行役員制度の強化

指名・報酬委員会設置

2017年11月現在
 取締役10名（うち独立社外取締役3名）
 監査役3名（うち独立社外監査役2名）
 執行役員5名